

「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

東大和市立第四小学校 6年

	各教科の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的学習指導計画	評価
国語	○日常生活に必要な語彙や語句などの知識や技能を身に付けること	○読み取る力の向上させる授業の工夫 ・叙述から根拠を探しながら読むことを徹底して指導する。 ○語彙力の向上させる授業の工夫 ・辞書引きを習慣化し、自ら語彙を増やしていけるように指導する。 ・俳句や短歌作りを定期的に行い、言葉を吟味する学習活動を設定する。	・まとめたことを表現する場の工夫。 ・辞書を活用する時間を設ける。 ・学習の振り返りを丁寧に書く。	B
社会	○社会に見られる課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、表現する力を養うこと	○課題意識をもたせ、資料や情報の収集・活用力を向上させる授業の工夫 ・単元の導入で既習事項を基にした予想をもたせ、探究心を高める。 ・資料の正確な読み取りや特徴について徹底して指導する。	・ノート指導の充実。 ・資料集の積極的な活用。 ・歴史においては、時代の流れがつながるように、復習を含め繰り返し確認していく。	A
算数	○既習の学習内容をしっかりと身に付け、当該学年の学習に生かすこと。	○基礎・基本の定着と既習事項を生かす授業の工夫。 ・児童の考えに対して、既習事項との繋がりを明確にする。 ・算数用語を意識して、正しく使えるように指導する。 ・数直線やます図を使った立式の仕方を徹底して指導する。	・一人一人の児童の理解に応じた少人数指導を行う。 ・家庭学習におけるAI型教材の活用。	A
理科	○既習の学習内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する力を養うこと	○課題意識をもって、実験・観察に取り組める活動の工夫。 ・日常生活から出た疑問から観察や実験を行う工夫をする。 ・実験計画を立てさせ、実験方法を吟味することで実験方法の理解を深める。 ・1人1台端末を活用し、情報の共有をする。	・観察、実験を行う上での視点を明確にする ・習熟プリント・ワークシートを活用する	B
音楽	○表したい音楽表現をするために必要である基本的な歌唱・器楽の知識技能を身に付けること。	○意欲的に学べる授業の工夫 ・生活の中の音や音楽と結び付け、興味関心をもてるように導入を工夫する。 ○知識・技能を身に付けるための学習の工夫 ・ペア練習やグループ活動を多く取り入れ、主体的に学び合う時間を確保する。 ・ICTを効果的に活用し、基礎的な技能を理解しやすくする。	・年間を通して常時活動を行い、音楽の基礎基本を身に付ける。 ・様々な楽器や楽曲に触れられるようにする。	B
図工	○表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想したり構成したりすること	○児童が進んで造形活動に取り組むための授業展開 ・関心、意欲、豊かな発想につながる導入の工夫をする。 ・児童が自分で表現したいことを見つけられるような個別への声掛けをする。	・見通しが持てるようにユニバーサルデザインに基づく板書の徹底 ・机間指導を徹底し、個別支援の充実を行う。	B
家庭	○衣食住、消費や環境について、日常生活に必要な基礎的な知識技能を身に付けること	○技能の習得の実態を把握し、作品製作や実習の達成感を味わえるきめ細やかな指導を充実させる。 ・サンプル等を例示して意欲を高める工夫をする。	・課題を明確にし、習得した技能を使い、作品を作るなど、実践させる。 ・家庭で調理実習や制作を行い、実践力を高める。	B
体育	○運動に進んで取り組み、最後まで努力して運動をする態度を養うこと	○めあてをもたせ、工夫して練習する態度を育成する。 ・各運動における、動きのポイントを提示し、自ら工夫してスモールステップで練習に取り組ませる ・毎時間のめあての確認と振り返りを実施する。 ・グループで教え合い、互いに正しい動きを身に付けられるような活動を実施する。	・友達とのかかわり合いを活発にし、互いに教え合い高め合う場面を増やす。 ・学習カードや1人1台端末を活用する。 ・スモールステップで練習する場の設定を工夫する。	A